

添付資料

温室効果ガス排出量の削減効果及び資源循環の効果算出シート

事業名：〇〇株式会社 〇〇事業

■該当する類型

類型	
----	--

■基準シナリオの種別

0

令和7年10月

■目次

1	シナリオの概要と機能単位
2	算出範囲
3	インベントリデータ一覧
4-1	算出結果_温室効果ガス排出量の削減効果（製品バスケット法の場合）
4-2	算出結果_温室効果ガス排出量の削減効果（負荷回避法の場合）
5-1	算出結果_資源循環の効果（類型①）※
5-2	算出結果_資源循環の効果（類型②）※
5-3	算出結果_資源循環の効果（類型③）※
6	改訂履歴

※該当する類型の様式のみ作成すること

1.シナリオの概要と機能単位

改訂番号 0 入力日 令和7年11月5日

事業名：〇〇株式会社 〇〇事業

■該当する類型

■基準シナリオの種別

類型	
----	--

■シナリオの概要と機能単位

記入項目		記入欄	
シナリオ の概要	事業 シナリオ	廃棄物の種類 例.廃プラスチック類（一般廃棄物）	
		再資源化等の方法 例.〇〇によるマテリアルリサイクル 残渣〇〇tは熱回収	
		再生材（複数ある場合は処理割合） 例.廃棄物の処理量1tあたり再生樹脂〇〇t、再生〇〇t	
	基準 シナリオ	廃棄物の処理方法及び処理割合等	
機能単位	対象 とする 廃棄物	種類と量	例.廃プラスチック類（一般廃棄物）
		排出源	XX市：XX% XX市：XX%
	生産される再生部品 又は再生資源		再生〇〇
温室効果ガス排出量の削減効果の算出方法に負荷回避法を用いる場合に〇と入力する			

【入力上の注意】
□入力日を記載

【入力上の注意】
□〇〇の全国平均の処理を入力
すること。（〇〇には対象とする廃
棄物を記載）

【入力上の注意】
□類型③において、基準シナリオを
「同種類の通常の設備が導入さ
れた事業」と設定した場合には、
「同種類の通常の設備」の設備の
種類と性能（出力、処理能力）、
その設備に定めた根拠を入力する
こと。

2.算出範囲

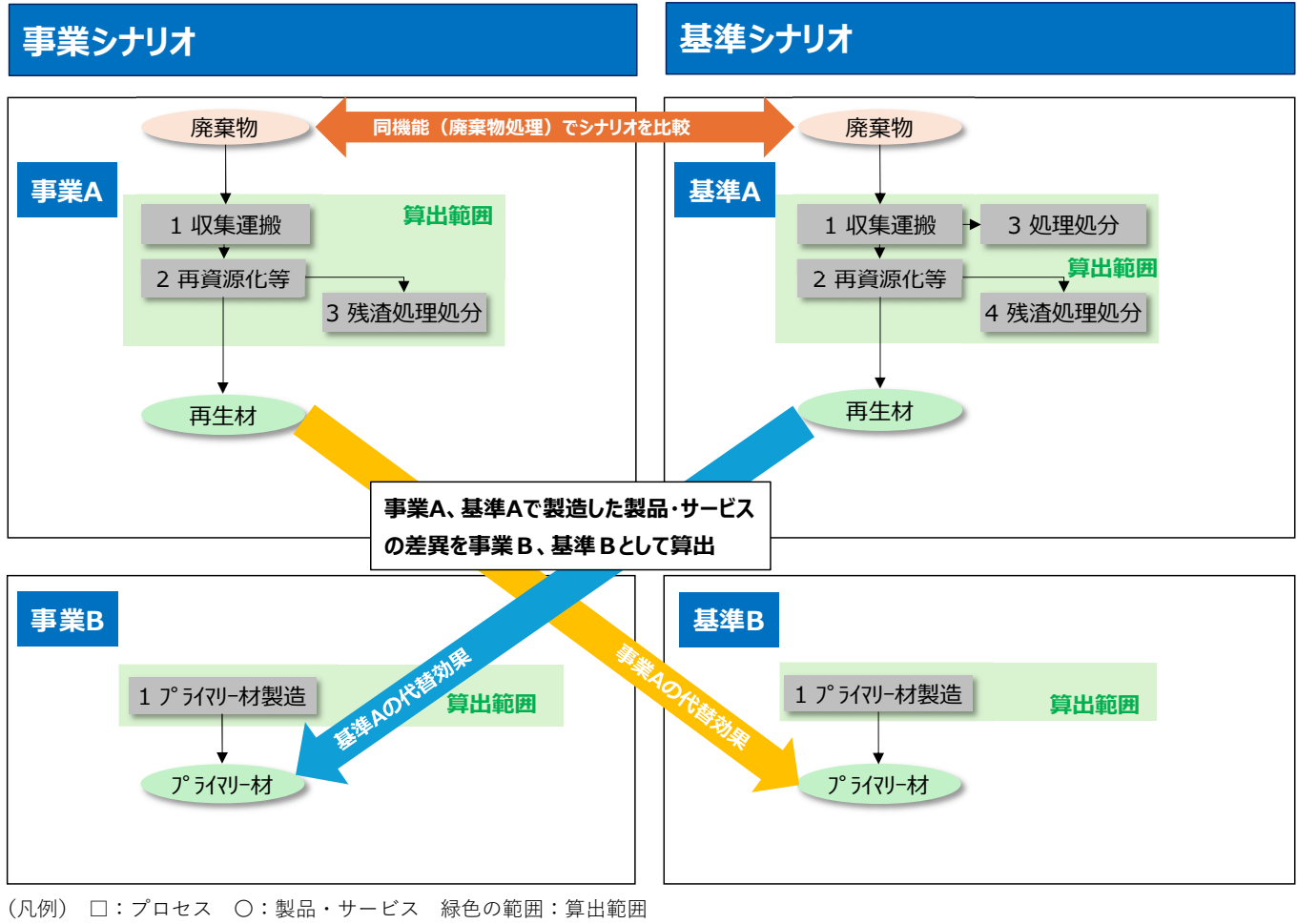
事業名：〇〇株式会社 〇〇事業(類型)

■各シナリオのプロセス

- 事業A：事業シナリオの再資源化プロセス
- 事業B：基準シナリオに再資源化や熱回収の工程があり、事業シナリオにはその工程がない場合、その再資源化や熱回収によって得られる製品・サービスの天然資源・プライマリー材由来の製造プロセス
- 基準A：基準シナリオの処理プロセス
- 基準B：事業シナリオの再資源化と同じ製品・サービスの製造におけるプライマリー材での製造プロセス

■算出範囲

- 類型①：A⇒収集運搬から残渣処理処分を含む再資源化等のプロセスまで B⇒プライマリー材由来の製品製造プロセスまで
- 類型②：A⇒収集運搬を除く残渣処理処分を含む再資源化等のプロセスまで B⇒プライマリー材由来の製品製造プロセスまで
- 類型③：A⇒収集運搬を除く残渣処理処分を含む再資源化等のプロセスのうち事業シナリオで設備更新等を実施するプロセスによって影響を受けるプロセス B⇒プライマリー材由来の製品製造プロセスまで



【入力上の注意】

- 算出範囲のプロセスは採番をした上で、図中のプロセス凡例に番号とプロセス名を併記すること。
- 算出範囲のプロセスは緑色の四角で囲い、算出範囲を明示すること。
- 算出範囲のプロセスが多いなどの理由で、作図に必要なスペースが不足する場合は算出範囲について別ファイルで提出することを認める。
- 両シナリオの廃棄物と、プロセスが生み出す製品・サービスより等量・等質（機能が等価という意味）であるものをそれぞれ両矢印で示すこと。
- 「算出範囲」が本シートに収まりきらない場合は、別ファイルで提出してもよい。その場合は以下のとおりで提出すること。
- ・Word、Excel、PowerPoint、PDFのいずれかのファイルによること。
 - ・A4サイズで印刷されることを念頭に置き、10pt以上のフォントを用いて作成すること。
 - ・ファイル名は「【算出範囲】申請者名_事業名_拡張子」とすること。
- 類型②の場合、収集運搬のプロセスがシナリオ間で異なる場合、算出範囲に含め、同一の場合は算出

3.インベントリデーター一覧

改訂番号 0 入力日 令和7年11月5日

事業名：〇〇株式会社 〇〇事業(類型)

(1) 温室効果ガス排出量の削減効果に関するインベントリデータ

①事業シナリオ

カテゴリ	No.		プロセス	区分	数値	単位	活動量等の数値を計算した場合に 用いた値、数式	出典における数値の定義・考え方	出典	出典番号
	プロセス	参照								
事業A										
事業B										

②基準シナリオ

カテゴリ	No.		プロセス	区分	数値	単位	活動量等の数値を計算した場合に 用いた値、数式	出典における数値の定義・考え方	出典	出典番号
	プロセス	参照								
基準A										
基準B										

(2) 資源循環の効果に関するインベントリデータ

③事業シナリオ

カテゴリ	No.	再生材	数値	単位	活動量等の数値を計算した場合に 用いた値、数式	出典における数値の定義・考え方	出典	出典番号
事業A								

④基準シナリオ

カテゴリ	No.	再生材	数値	単位	活動量等の数値を計算した場合に 用いた値、数式	出典における数値の定義・考え方	出典	出典番号
基準A								

【入力上の注意】

・「活動量等の数値を計算した場合に用いた値、数式」には、活動量に影響する収率、機器の処理能力等の条件があり、それらを掛け合わせて活動量等を算出した場合に、計算に用いた元の数値と計算式を入力する。

・「出典における数値の定義・考え方」には、出典におけるデータの範囲（排出係数の例：鉄鋼製品の製造/ データの範囲：鉄鉱石の採掘、輸送、製鉄、製鋼、鋳造、圧延など）、設定条件（例：データ整備をおこなった地域、対象の技術、データのばらつき等データ採用にあたり留意すべき事項、など）等を明記すること。

・活動量を申請者自身の測定値より算出に用いる場合はガイドライン4.1.4を参照し、データの品質についても留意すること。（具体的には、データを測定した期間、データのばらつき・統計的な確からしさに関して記述すること）

（実測値を算出に用いる例：あるプロセスについて、廃棄物1t当たりの電力消費量を計算する場合/ 〇〇〇年〇月～〇〇〇年〇月（12か月間）の〇〇プロセスの消費電力量の合計値を配電盤で計測した（XXXkWh）。同期間の当該プロセスの廃棄物処理量（YYYt）で消費電力量を割り算することで廃棄物1t当たりの電力消費量を算出した。
XXX kWh / YYY t = ZZZ kWh
なお、〇〇〇年〇月～〇〇〇年〇月の月ごとの廃棄物1t当たりの電力消費量は平均値±5%の範囲内に収まることを確認済み）

・「出典における数値の定義・考え方」にて、他のインベントリデータを参照する場合は、下記のルールにて参照番号を付記して記載のこと。

記載例：②基準A-3a
= ②基準シナリオ カテゴリ：**基準A**、プロセス・参照番号：**3a** を示す。

・「No./プロセス」には、「2.算出範囲」シートにて、フロー記載のプロセス凡例と同じプロセス名、番号を用いること。

・「プロセス」には、「2.算出範囲」シートのフローに記載のプロセス凡例の名称と同じものを記載のこと。

4-1.算出結果_温室効果ガス排出量の削減効果（製品バスケット法の場合）

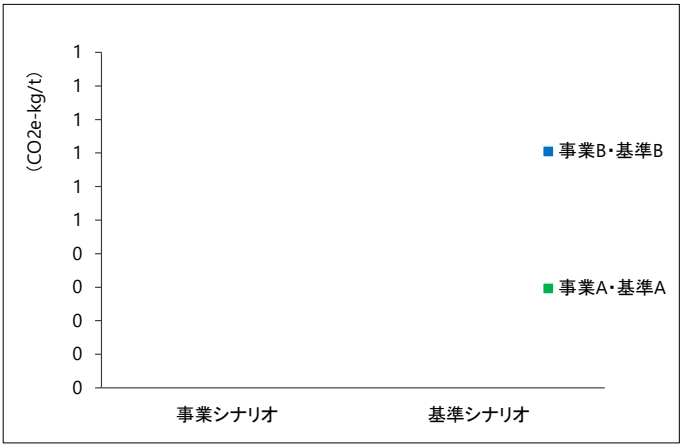
改訂番号 0 入力日 令和7年11月5日

事業名：〇〇株式会社 〇〇事業(類型)

(1) 温室効果ガス排出量の削減効果

①1t当たりの削減量

カテゴリ	項目	排出量 (CO2e-kg/t)
事業A	事業シナリオの再資源化プロセス	0
事業B	基準シナリオに再資源化や熱回収の工程があり、事業シナリオにはその工程がない場合、その再資源化や熱回収によって得られる製品・サービスの天然資源・プライマリー材由来の製造プロセス	0
基準A	基準シナリオの処理プロセス	0
基準B	事業シナリオの再資源化と同じ製品・サービスの製造におけるプライマリー材での製造プロセス	0
温室効果ガスの排出削減量 (基準A+基準B)-(事業A+事業B)		0



(2) 算出結果の詳細

活動量および排出係数については、「3.インベントリデーター一覧」に出典、算出方法等を記載すること。
フロー図上のカテゴリとプロセスのNo.を合わせて、記載すること。

①事業シナリオ

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (CO2e-kg/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
事業A											0
											0
											0
合計											0

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (CO2e-kg/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
事業B											0
											0
											0
合計											0

②基準シナリオ

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (CO2e-kg/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
基準A											0
											0
											0
合計											0

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (CO2e-kg/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
基準B											0
											0
											0
合計											0

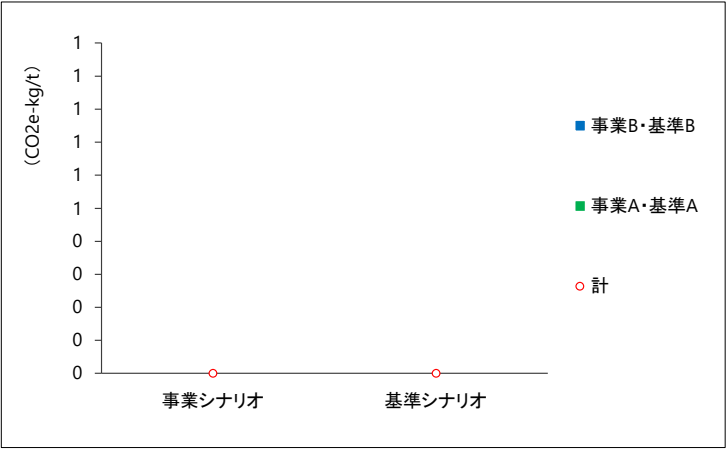
4-2.算出結果_温室効果ガス排出量の削減効果（負荷回避法の場合）

事業名：〇〇株式会社 〇〇事業(類型)

(1) 温室効果ガス排出量の削減効果

①1t当たりの削減量

カテゴリ	項目	排出量 (CO2e-kg/t)
事業A	事業の取組実施による温室効果ガス排出量	0
基準B	事業シナリオの再資源化と同じ製品の製造における、プライマリー材製造工程での温室効果ガス排出量(負の排出量として計上)	0
事業シナリオ		0
基準A	廃棄物の適正処理、再資源化又は熱回収の工程での温室効果ガス排出量	0
事業B	基準シナリオで再資源化や熱回収が行われていたと設定した場合に、従来の処理が行われなくなってしまうことを補うために必要な工程での温室効果ガス排出量（負の排出量として計上）	0
基準シナリオ		0
温室効果ガス排出量の削減効果 (基準A+事業B)－(事業A+基準B)		0



(2) 算出結果の詳細

活動量および排出係数については、「3.インベントリデーター覧」に出典、算出方法等を記載すること。
フロー図上のカテゴリとプロセスのNo.を合わせて、記載すること。

①事業シナリオ

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (CO2e-kg/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
事業A											0
											0
											0
合計											0

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (CO2e-kg/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
事業B											0
											0
											0
合計											0

②基準シナリオ

カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (CO2e-kg/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
基準A											0
											0
											0
合計											0

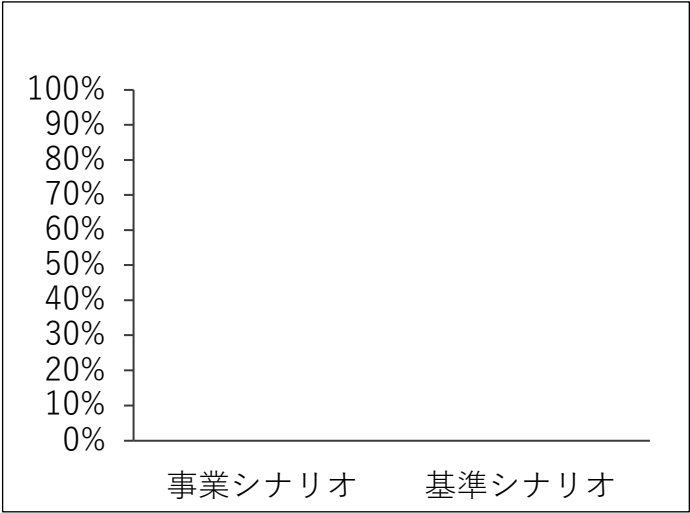
カテゴリ	No.	プロセス	活動量				排出係数				排出量 (CO2e-kg/t)
			参照No.	項目名	数値	単位	参照No.	排出係数名	数値	単位	
基準B											0
											0
											0
合計											0

事業名：〇〇株式会社 〇〇事業(類型)

(1) 資源循環の効果

① 廃棄物1t当たりの資源循環の効果

項目	事業シナリオ	基準シナリオ
廃棄物の処理量 (t)	1.00	1.00
再生材供給量 (t)	0.00	0.00
再生材供給量/ 廃棄物の処理量 (%)	0%	0%
資源循環の効果 ＝事業シナリオ－基準シナリオ		0%



(2) 算出結果の詳細

活動量等については、「3.インベントリデータ一覧」に出典、算出方法等を記載すること。

① 事業シナリオ

No.	再生材供給量 (t)		
	項目名	数値	単位
			t
			t
			t
合計		0.00	t

② 基準シナリオ

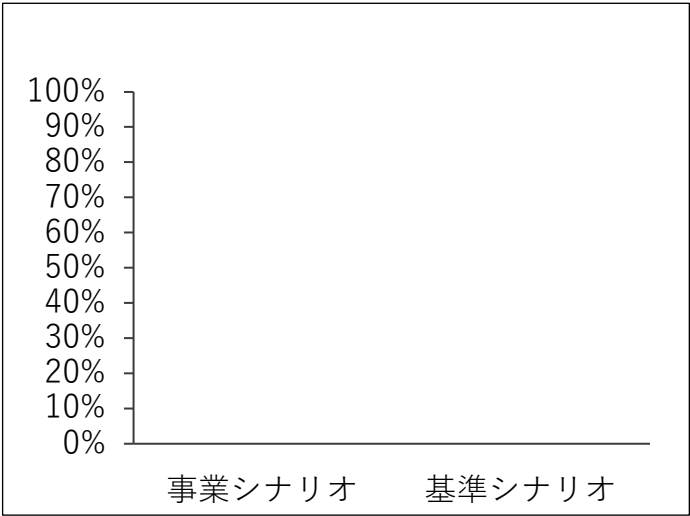
No.	再生材供給量 (t)		
	項目名	数値	単位
			t
			t
			t
合計		0.00	t

事業名：〇〇株式会社 〇〇事業(類型)

(1) 資源循環の効果

① 廃棄物1t当たりの資源循環の効果

項目	事業シナリオ	基準シナリオ
廃棄物の処理量 (t)	1.00	1.00
特定の再生材製造量 (t)	0.00	0.00
特定の再生材製造量/ 廃棄物の処理量 (%)	0%	0%
資源循環の効果 ＝事業シナリオ－基準シナリオ		0%



(2) 算出結果の詳細

活動量等については、「3.インベントリデータ一覧」に出典、算出方法等を記載すること。

① 事業シナリオ

No.	特定の再生材製造量 (t)		
	項目名	数値	単位
			t
			t
			t
合計		0.00	t

② 基準シナリオ

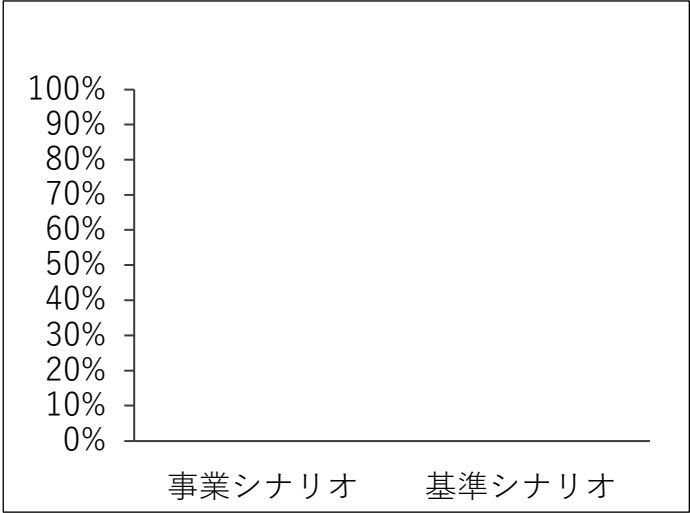
No.	特定の再生材製造量 (t)		
	項目名	数値	単位
			t
			t
			t
合計		0.00	t

事業名：〇〇株式会社 〇〇事業(類型)

(1) 資源循環の効果

① 廃棄物1t当たりの資源循環の効果

項目	事業シナリオ	基準シナリオ
廃棄物の処理量 (t)	1.00	1.00
再生材製造量 (t)	0.00	0.00
再生材製造量/ 廃棄物の処理量 (%)	0%	0%
資源循環の効果 ＝事業シナリオ－基準シナリオ		0%



(2) 算出結果の詳細

活動量等については、「3.インベントリデータ一覧」に出典、算出方法等を記載すること。

① 事業シナリオ

No.	再生材製造量 (t)		
	項目名	数値	単位
			t
			t
			t
合計		0.00	t

② 基準シナリオ

No.	再生材製造量 (t)		
	項目名	数値	単位
			t
			t
			t
合計		0.00	t